

# 男子ホッケー 第17回アジア競技大会 仁川2014

日付	2014年9月25日 13:00~14:30	天候	晴れ
場所	韓国・仁川	通算結果	日本 2勝1敗
試合	第3戦		

Country <b>日本</b> JAPAN	RESULT	Country <b>シンガポール</b> SINGAPORE
	Full Time	<b>13 - 0</b>
	End of Period	<b>3-0 4-0 7-0</b>

Minute	Shrit No.	Name	GREEN	YELLOW	RED
✓	1	高瀬克也(GK)			
✓	3	粥川幸司(C)			
40	5	塩川直人			
✓	7	小野知則			
4	8	北里謙治			
4	9	藤本一平			
✓	10	中山康大			
	11	川上啓			
✓	14	長澤克好			
✓	15	山下学			
4	16	畠山学			
✓	19	田中健太			
✓	20	川上良平			
✓	23	坂本博紀			
5	29	山部晃嗣			
✓	32	橋敏郎			
Coach		姜建旭			
Manager		藤原信幸			
UMPIRE		MOHAMMADI RAHMAT(IRI)			

Minute	Shrit No.	Name	GREEN	YELLOW	RED
✓	1	A Suresh(GK)			
4	3	SALIM Muhammad Haseef	30		
✓	4	KAMSANI Mohamad Farhan			
10	5	ABDUL LATHIF MARICAN Enrico Elifh(C)			
✓	7	ABDULLAH SASI Karleef	5		
✓	11	ZULKEPLI Nur Ashrip Ferdaus			
4	12	NOOR SHAH Silas Abdul Razak			
✓	16	SIVALINGAM Johnson	23		
✓	17	ALIAS Muhammad Ashraff			
✓	18	TAN Yi Ru			
✓	19	YUHARI Mohammed Sabri			
10	21	SINGH GREWAL Ishwarpal			
✓	23	ASALI Muhammad Baqir			
11	24	MAT RAHIM Muhammad			
✓	27	ANBALAGAN Prashan			
✓	29	MUHAMMAD JOHARI Ahmad Faris			
Coach		SUNIL Prasad Eyamo			
Manager		SALIM Bin Mohamed Nasir			
UMPIRE		SALEH AL BALUSHI(OMN)			

Team	Minute	Name	Action	Score
JPN	4	橋敏郎	FG	1-0
JPN	5	田中健太	FG	2-0
JPN	8	粥川幸司	PC	3-0
JPN	25	藤本一平	FG	4-0
JPN	34	田中健太	FG	5-0
JPN	37	北里謙治	FG	6-0
JPN	39	長澤克好	PC	7-0

Team	Minute	Name	Action	Score
JPN	46	坂本博紀	PC	8-0
JPN	48	橋敏郎	FG	9-0
JPN	52	田中健太	FG	10-0
JPN	54	橋敏郎	FG	11-0
JPN	57	藤本一平	FG	12-0
JPN	60	小野知則	FG	13-0

第17回アジア競技大会の第3戦は世界ランキング36位シンガポールとの対戦である。予選リーグの得失点差を考え、大量得点を奪いたい日本。

(第1クォーター)

開始4分日本は自陣から攻め上がると、ライトから中山のドリブル突破でサークルに侵入。最後は橋が合わせ先制点を奪う。続く5分には坂本がサークルトップ中央のドリブル突破からGKを引きつけ、最後は田中が角度の無い位置から落ちて2点目を決める。8分にはPCの長澤のドラッグフリックから最後は粥川が合わせ3点を奪い、第1クォーター終了。

(第2クォーター)

第2クォーターも終始日本ペースで試合が進むと、25分レフトからライトへ大きく展開されたパスを受けた長澤が、敵陣23m付近から中央ヘドリブルを仕掛け、田中の中継されたパスを受けた藤本がレフトブッシュから4点目を奪う。この他にも何度もシュートを放った日本であったが、第2クォーターは1点に留まり試合を折り返す。

(第3クォーター)

第3クォーターに入っても攻撃の手を緩めない日本。34分にサークル内でのクリアミスと、北里のクロスパスから田中のタッチで5点目。37分にも同様にクリアボールを持った日本は、北里の豪快なヒットから6点目を奪う。39分には長澤のドラッグフリックシュートから7点目を奪い、第4クォーターへ。

(第4クォーター)

第4クォーター開始早々にプレスからボールを奪った日本は、PCを取得。リバウンドを拾うと、長澤のクロスパスから坂本がタッチで合わせる。その後も、小野のパスからタッチで橋、坂本のドリブル突破から田中、エンドラインのドリブルから橋、川上良のブッシュシュートがポストに当たったリバウンドを藤本、最後は混戦の中からのクロスパスを小野が押し込んだ。

終始試合の主導権を握り続けた日本。シンガポールに大量13得点を奪い、次戦のマレーシア戦に弾みをつける結果となった。

日本	26	シュート数	1	シンガポール
	4	PC数	0	

次戦(第4戦) 9月27日(土) 15:00 ~ 日本対マレーシア

記載責任者: 男子コーチ 藤原 信幸